

2022年1月12日
記者発表資料
生涯学習部図書館町田市民文学館
館長 野澤
電話 042-739-3420

「^{ごしちごしちしち}57577展-訪れてくれたあなたの足跡と共に続いてゆく物語」 開催

2020年の新型コロナウイルス流行を契機に、私たちが日常の中でアートに触れる機会は確実に減少しました。そして、今後も感染の脅威が続く限り、社会が完全な形で元に戻ることはないでしょう。

57577展は、ポストコロナ時代に向けて、町田市民文学館ことばらんどが提案する新しい体験型の文学展です。展示室内を短歌の初句（第1章）から結句（第5章）にちなんで5つに分け、若手歌人の作品を鑑賞するだけでなく、ゲームや仕掛けを利用して現代短歌にチャレンジする等、観覧者自ら手を動かし、頭をひねることで、短歌をより一層楽しめるようになっています。

また、SNSの活用も大きな特徴です。SNSで作品の募集をしたり、観覧者にゲームで出来上がった作品を写真に撮って投稿を促す仕掛けをする等、展示を中心にしながらアクティブな双方向性を意識しています。

■ 会期

1月29日（土）～3月27日（日）

午前10時～午後5時

※毎週月曜日（3月21日は開館）

2月10日（木）、3月10日（木）は休館

■ 会場：町田市民文学館ことばらんど（原町田 4-16-17）

■ 観覧料：無料

■ 出品作家：岡野大嗣、木下龍也、伊藤紺、鈴掛真

■ 出品/展示デザイン：秋山智憲

■ 協力：天野慶、幻冬舎、書肆侃侃房、ナナロク社

■ 展示構成：

- ・初句（第1章）：57577（57577をテーマにしたアーティストの作品を鑑賞しよう）
- ・二句（第2章）：現代短歌のいま（若手歌人の作品を体験しよう）
- ・三句（第3章）：みんなの57577（自分の短歌を展示しよう【一般募集の短歌を展示】）
- ・四句（第4章）：Let's try 57577（短歌づくりにチャレンジしよう）
- ・結句（第5章）：新しい短歌の世界（新しい短歌の世界を体験しよう）



「57577展」チラシ

■ 関連イベント

- 2月12日(土)：岡野大嗣 短歌教室 (講師のみオンラインで開催)
全2回 (2回目は3月5日に実施)
1月16日正午から文学館で電話受付
- 2月13日(日)：ワークショップ 天野慶「57577展で遊ぼう！」
1月18日正午から文学館で電話受付
- 2月23日(祝)：記念対談 鈴掛 真(歌人)×天野慶(歌人)
「短歌を外の世界へ届けるために」
- 3月6日(日)：記念対談 伊藤 紺(歌人/コピーライター)×秋山智憲(コピーライター)
「歌人とコピーライターの幸せな関係」
いずれも2月4日正午から町田市イベントダイヤルまたはイベシスで受付

<新型コロナウイルス感染症対策について>

感染状況により会期が変更になる可能性があります。

展覧会開催にあたり、消毒用アルコールを正面玄関・展示室前に設置します。